



第71回卒業証書授与式

3月1日(金)、第71回卒業証書授与式をとり行いました。静波会女性部手作りのコサージュを胸に付けた卒業生が入場し、開式。担任から卒業生の名前が読み上げられ、各クラス代表者に卒業証書が授与されました。湯川昌彦校長からは、まず



今日のこの日卒業生の3年間の努力をたたえるとともに、心から愛し支えてくださった家族・周囲の方への感謝を促しました。贈る言葉として、米沢藩主上杉鷹

山(うえずぎ ようざん)の「なせば成る、なさねば成らぬ何事も、成らぬは人のなさぬなりけり」を挙げ、世の中には思い通りにならないことが多い、本気でやろうと思っはじめて物事は動き始める。これから皆



さんが歩んでいく社会で、常に自分の夢と希望を持ち続け、本気で物事に取り組んでほしいという式辞がありました。

卒業記念品の「ガーデンテーブルとイスの目録が井口 愛加里さんから贈呈され、生徒会長の嘉成綾乃さんから送辞、卒業生を代表して服部 瞳さんから答辞がありました。厳粛であり、また心温まる1時間40分でした。



一年生総合的な学習の時間 社会問題研究学年発表会

3月20日(水)1・2限目に、各クラス各グループで取り組んできた社会問題研究についてクラス代表がスライドを用いたプレゼンテーションを行いました。A組は「サトヤマって知ってる」



をテーマに、森と山の境界線であった里山が消滅の危機にあり、野生動物が突然、街に現れたりする今、改めてその保護と地域興しを訴えた。



B組は大きな社会問題となっている「外国人労働者」を取り上げ、高校生の視点で考察を加えた。C

組は「人とサプリメントの関わり方」について

、例えば錠剤だけではなく、カロリーメイトやジェリー等もサプリメントであり高校生の身近に存在し、正しい用法を考えるべきと投げかけた。D組は「世界の食糧事情」



を取り上げ、特に穀物の消費量をキーワードに世界規模で考えなければならない重要課題であることを訴えた。E組は和歌山県がまさに直面している「過去の地震から学



ぶ南海トラフ防災術」について、日頃からの備えが大切であること、ハザードマップや避難場所及び訓練の大切さについて述べ、防災への意識向上を再認識させてくれた。



4月の予定

- 1日 離任式
- 8日 新任式、始業式、入学式
- 9日 対面式、クラブ紹介①
- 10日 クラブ紹介②
- 11日 身体測定
第1回公務員模試
- 12日 生活指導アセンブリー(1学年)
- 15日 生活指導アセンブリー(2学年)
スタディサポート(1学年)
- 17日 内科・眼科・歯科検診、検尿
- 19日 1学年臨海実習、2・3学年遠足
- 20日 ベネッセ記述模試